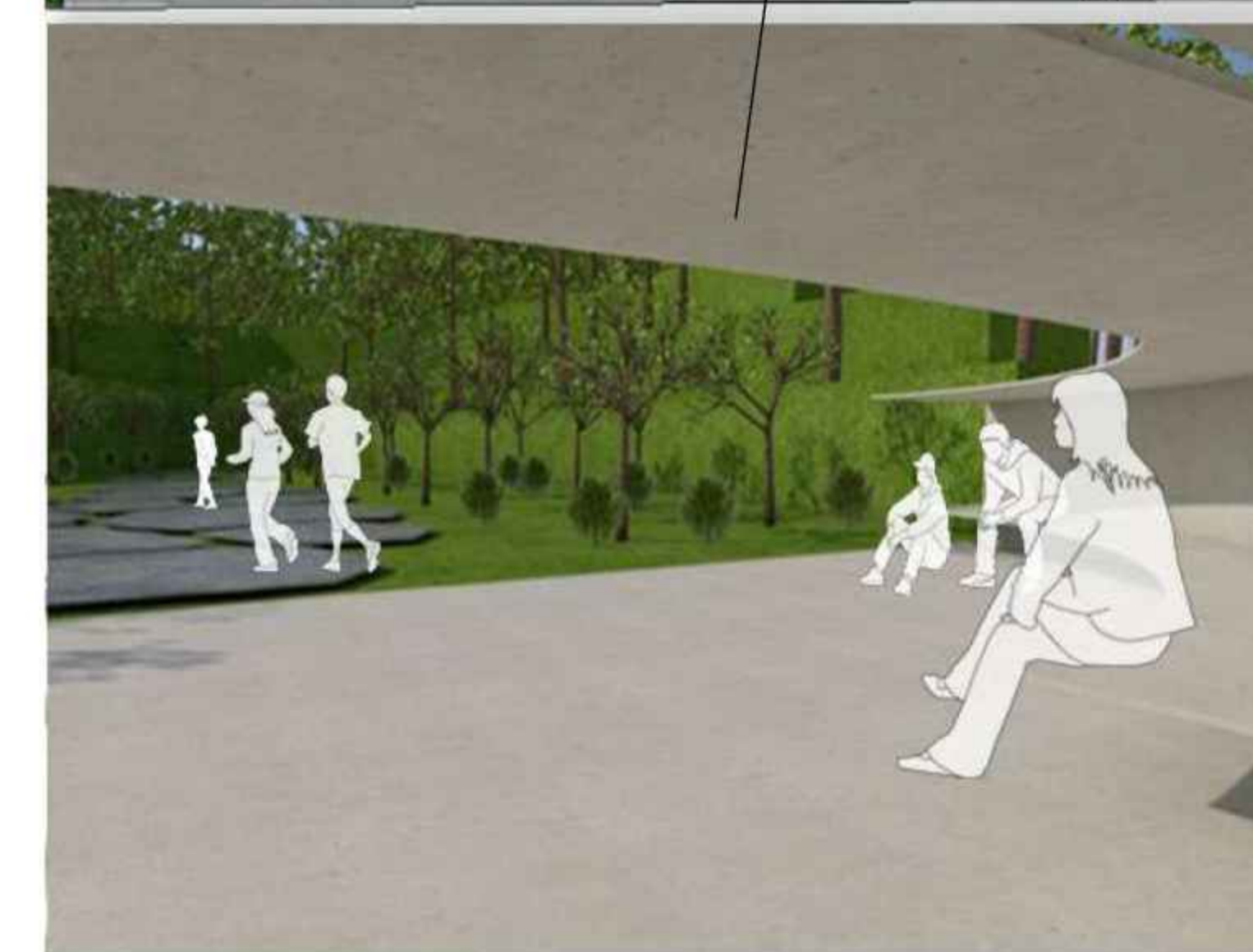
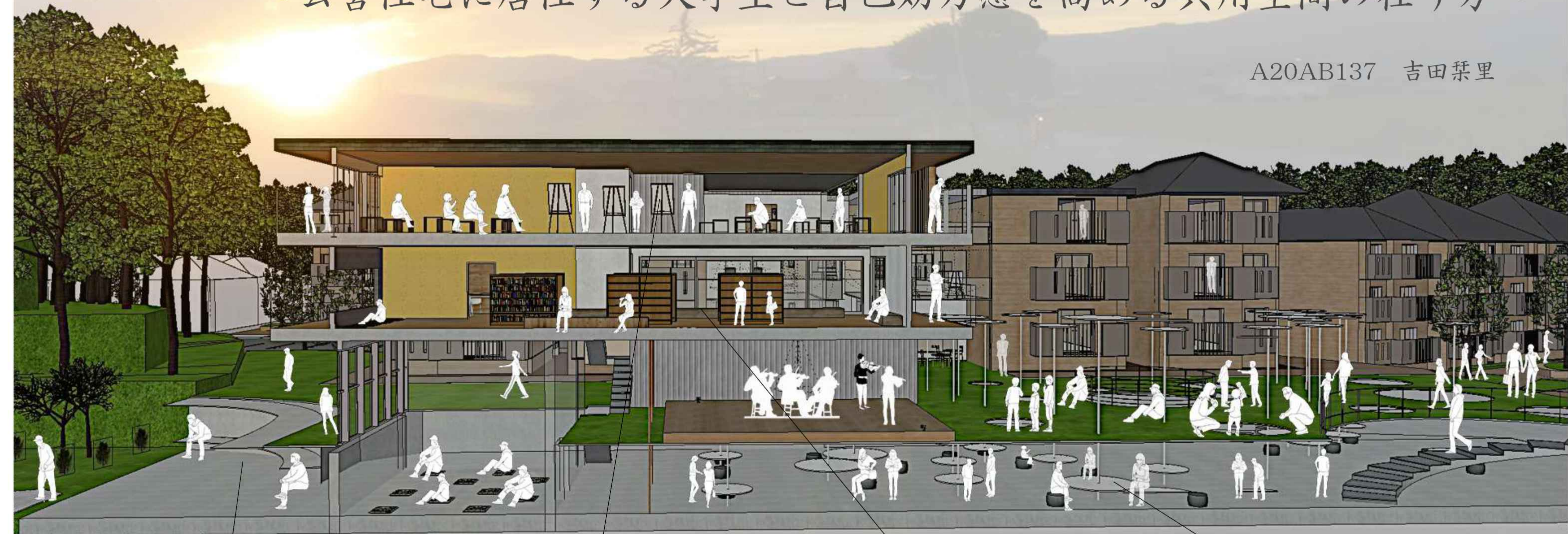


躍進

～公営住宅に居住する大学生と自己効力感を高める共用空間の在り方～

A20AB137 吉田栞里



瞑想・内観

自分の思考や行動を客観的に捉える

効果：感情や集中力のコントロールがうまくなる



音楽療法

楽器を演奏や歌うこと、聞くこと

効果：精神的な安定、自発性・活動性の促進、脳の活性化



読書

落ち着いた心呼び起こす

効果：想像力や知識が豊かになる、リラックス効果



交流

居住者同士や大学生との会話

効果：充実感、不安感やストレスの軽減

01. 公営住宅の問題点

①老朽化の進行



築後30年以上のストック数は約131万戸

②空家数の増加

図表: 公営住宅の長期空き家数の推移(全国)



老朽化の結果、不便さから入居を希望する人が減る

③社会的問題

背景となる滞在リスク

出身家庭の貧困 依存症

経済的困窮 人間関係

精神疾患

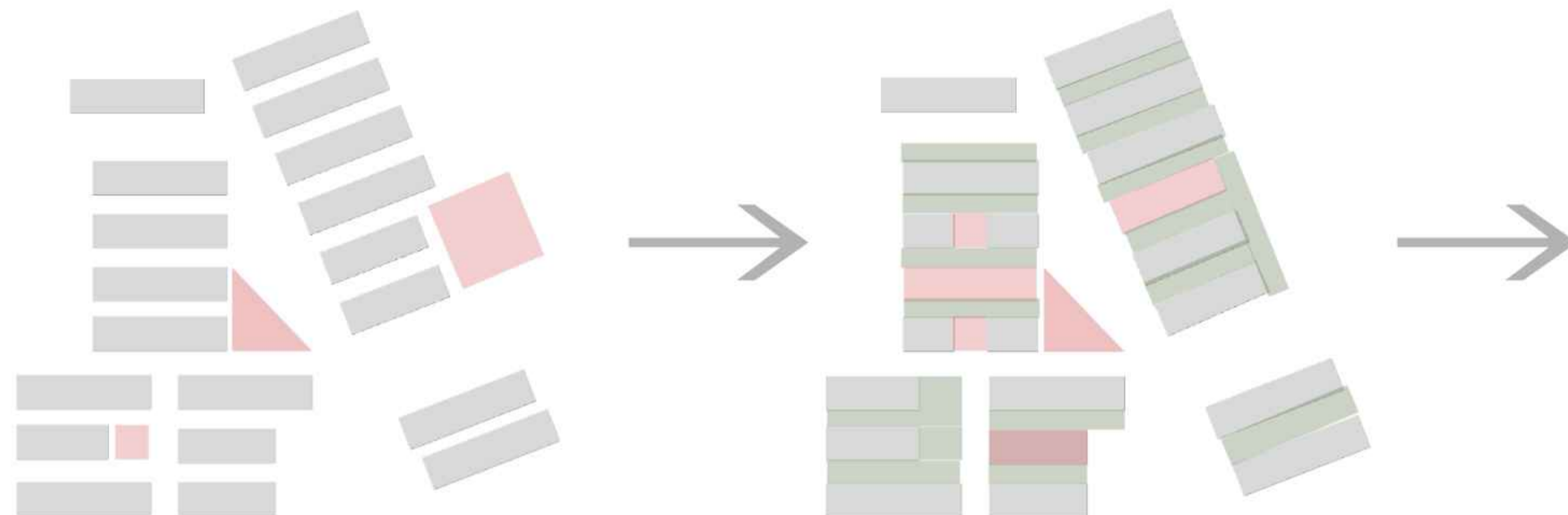
重層化する滞在リスク

教育格差 不安定な生活

就労問題 低学歴 孤立

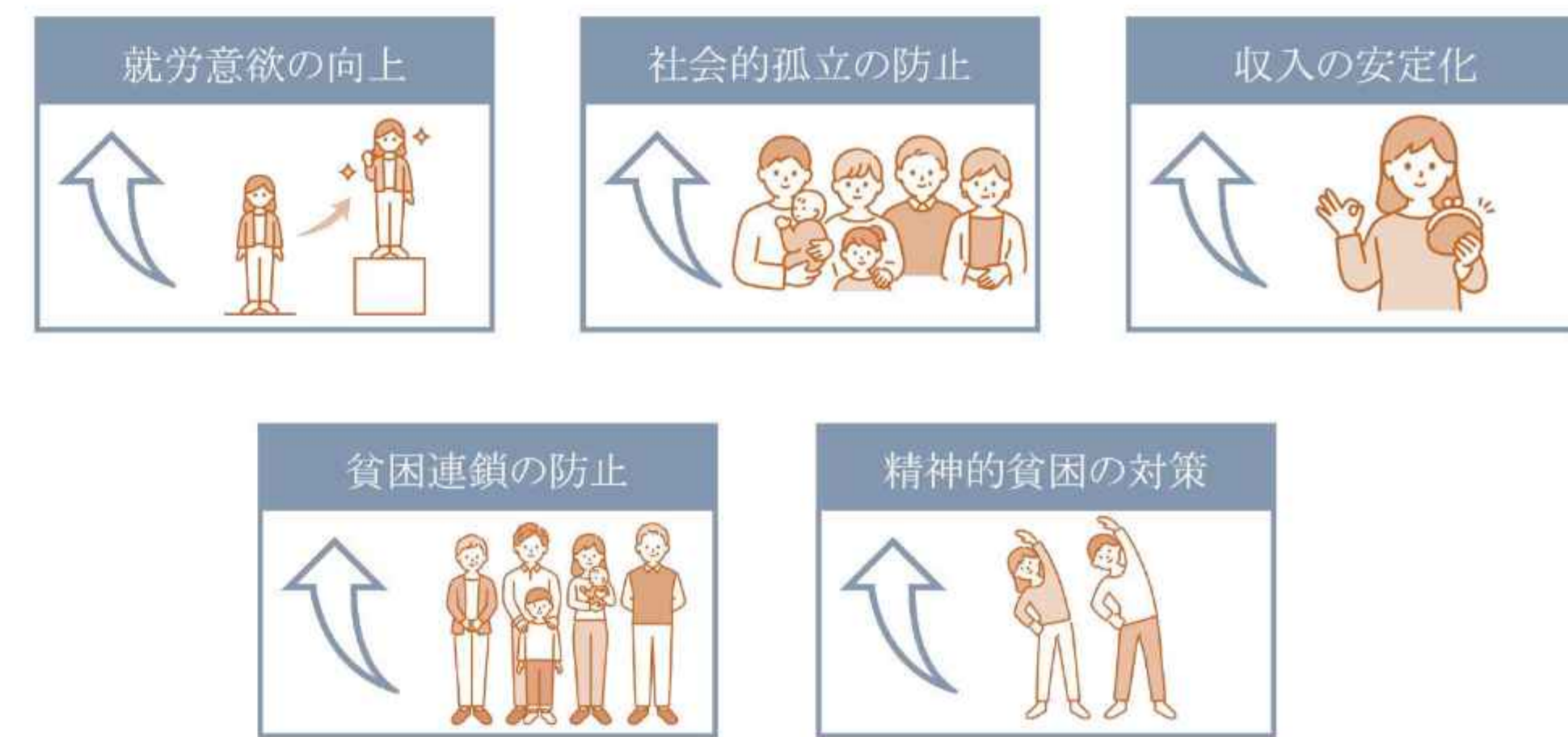
社会的排除のリスク

02. 目的



公営住宅の在り方を見直す

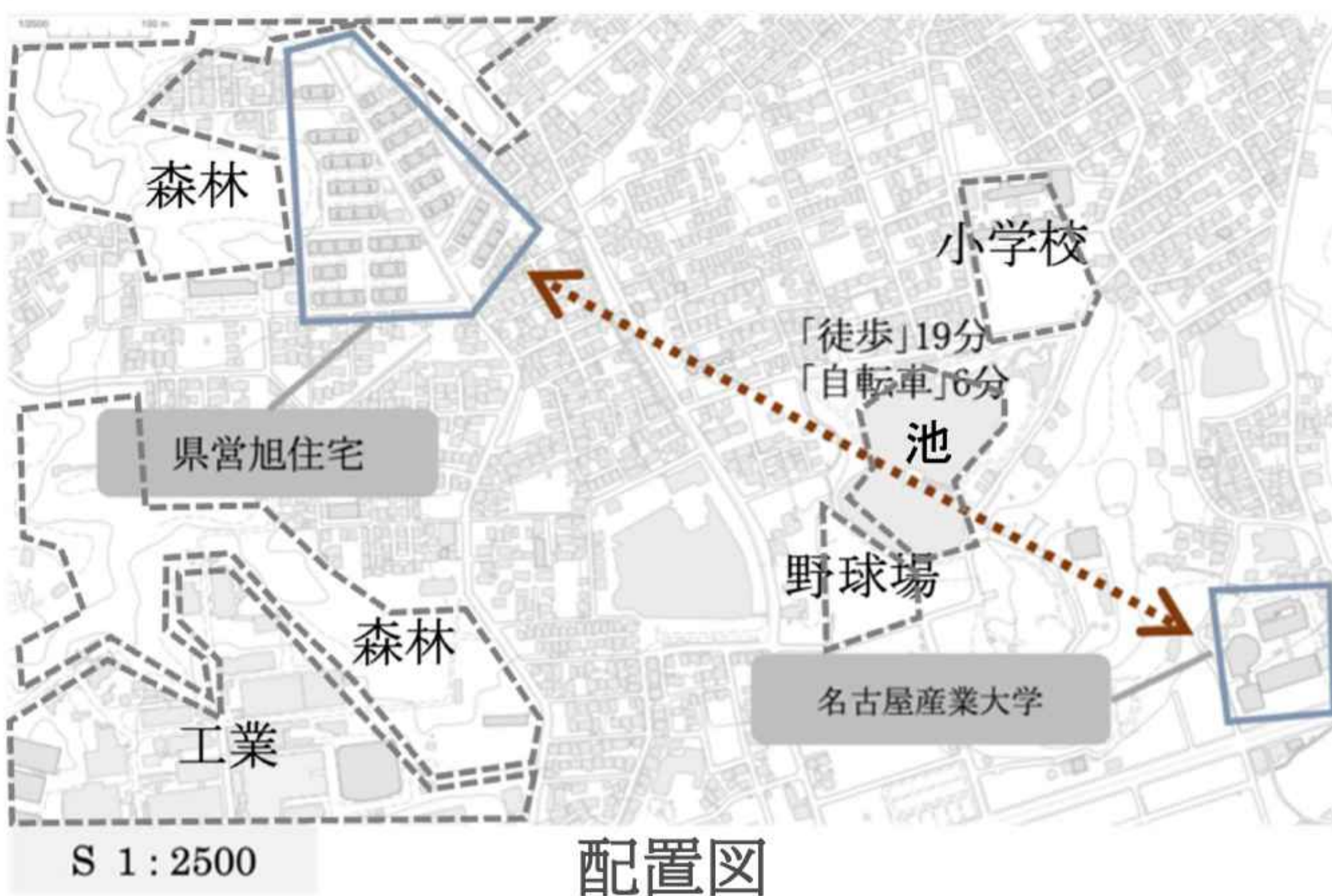
再生建築手法を用いて、建物の長寿命化
新たな用途を加える。



居住者の就労意欲の向上や社会的孤立を防ぐ
共用空間の再生を行う。

→居住の安定を確保できる環境が整う

03. 敷地計画



県営旭住宅 (愛知県尾張旭市平子町に位置する公営住宅)

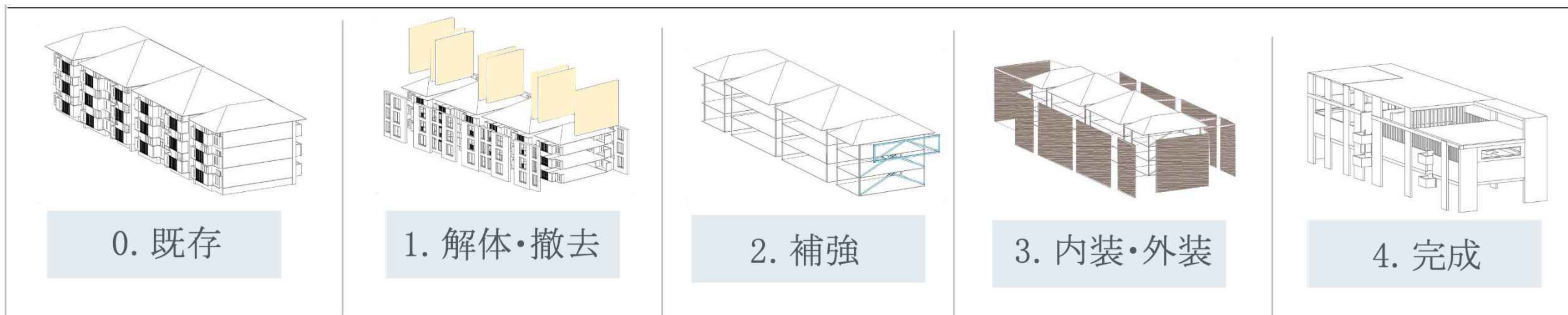
住宅街の近隣で、周辺には森林が広がり近所に森林公園がある緑豊かな敷地である。名古屋産業大学から徒歩19分、自転車で6分の距離に位置し、南方向に駅があるため接点がない。

棟数 19棟 管理戸数 277戸 階数 3階建て
調査日: 2023.07.15



19棟あるのに対し集会所や共用空間のスペースが少なく、コミュニティの希薄化が進んでいる。歩行デザインが乏しく、単一的な動線に。

04. 再生ダイアグラム



05. コンセプト

「大学生と自己効力感を高める居住者のための共用空間」

自己効力感とは・・・目標を達成するための能力を自らが持っていることと認識すること

低所得者

「心身の健康」に繋がり、「仕事スキル」が向上することで身近な人からの「信頼」を獲得できる

大学生 (ビジネス心理コース)

居住者の行動を「データ分析」・「統計」・「解析」し実践的な学びから、「他者理解」を高め「職業選択」のプロセスを知ることができる

高齢者

「健康」と「福祉」を得ることで「社会連携」を積極的に行え、高齢者の「居場所」や「見守り」の実現に

図1：居住者と大学生の自己効力感を高めるメリット

動線ダイアグラム



before

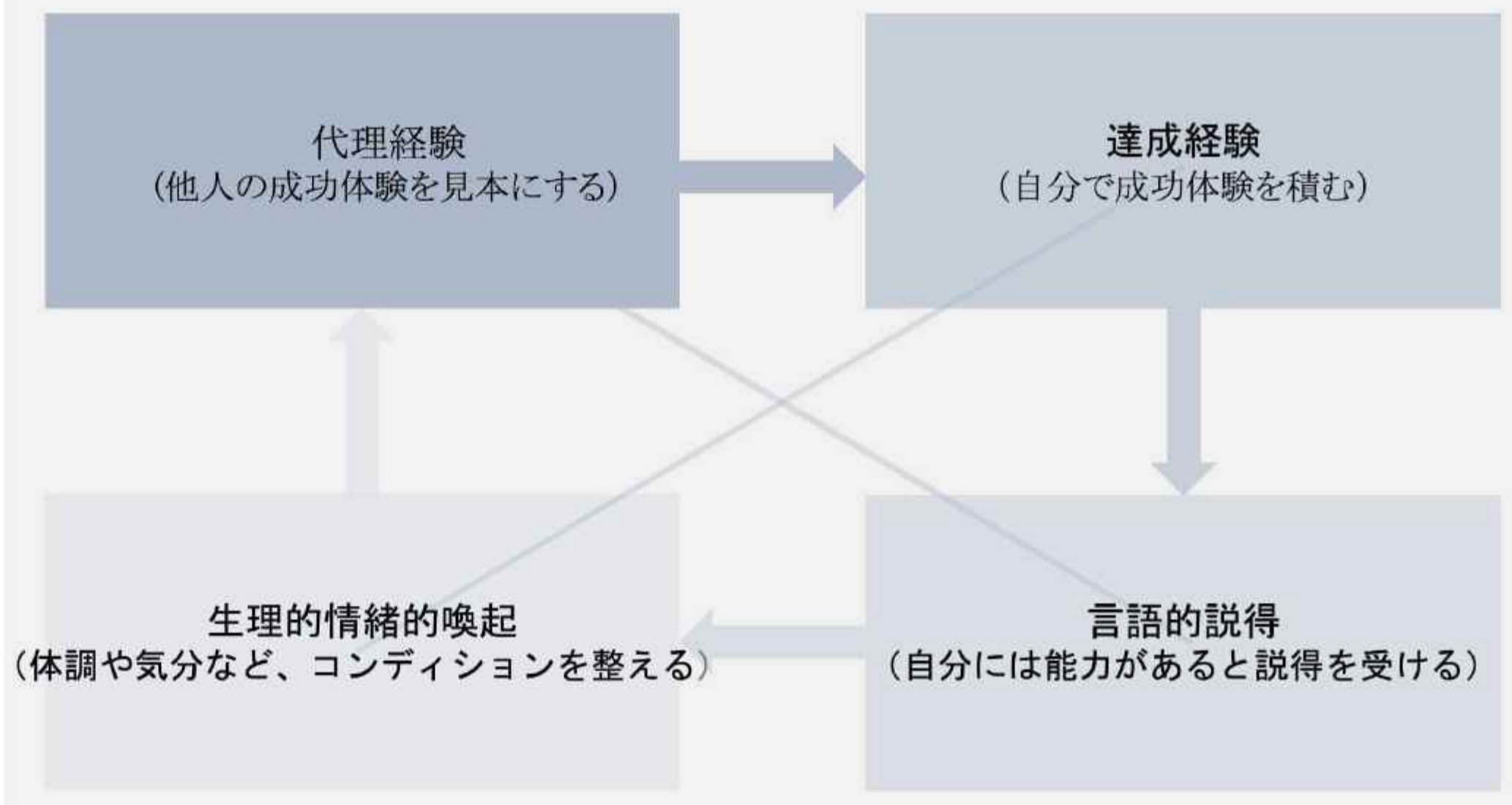
共用空間からの居住地までの動線が画一的



after

敷地内に共用空間を点在させること、ランドスケープを計画することで、団地全体でコミュニティの活性化に繋がる動線となる

自己効力感を生み出す4要素



先行要因	認知的要因	具体的手法
代理経験	身近な人(家族・友人・同僚など)や書籍・講演会をロールモデルとし「自分にもできる」という思考に	行事(支援・協働・世話等) 健康・スポーツ(器械運動・体操・トレーニング等) 趣味 生活環境改善(環境美化・緑化促進・まちづくり等) 教育・子育て(学習会・保育の手伝い等) 生産(園芸・飼育等)
達成経験	困難に挑戦し、自分の力で克服することで、「やればできる」という自信に	代理経験の具体的手法から、自身やチームなどの組織で掲げた目的・目標を成し遂げる
言語的説得	心身の状態を良好にすることで、「今なら自分にもできそう」と前向きに取り組める	準拠他者の設定と交流、準拠他者の行動の言語化・他者からのフィードバック
生理的情緒的喚起	自分の能力やスキルが優れている点を他者から「あなたならできる」と指摘され前向きに取り組める	ストレッチ・ヨガ 趣味 音楽・芸術 瞑想

06. プログラム

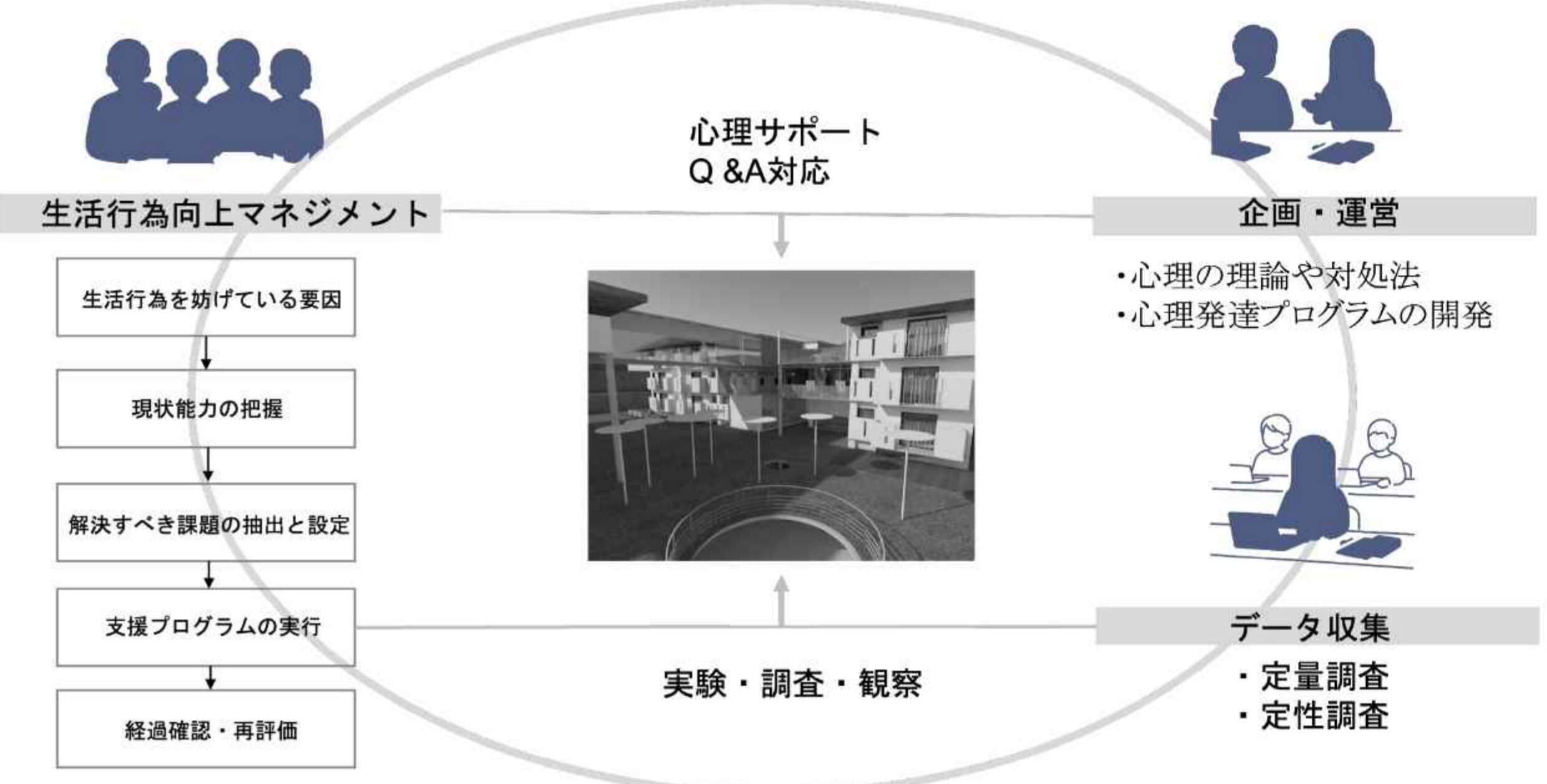
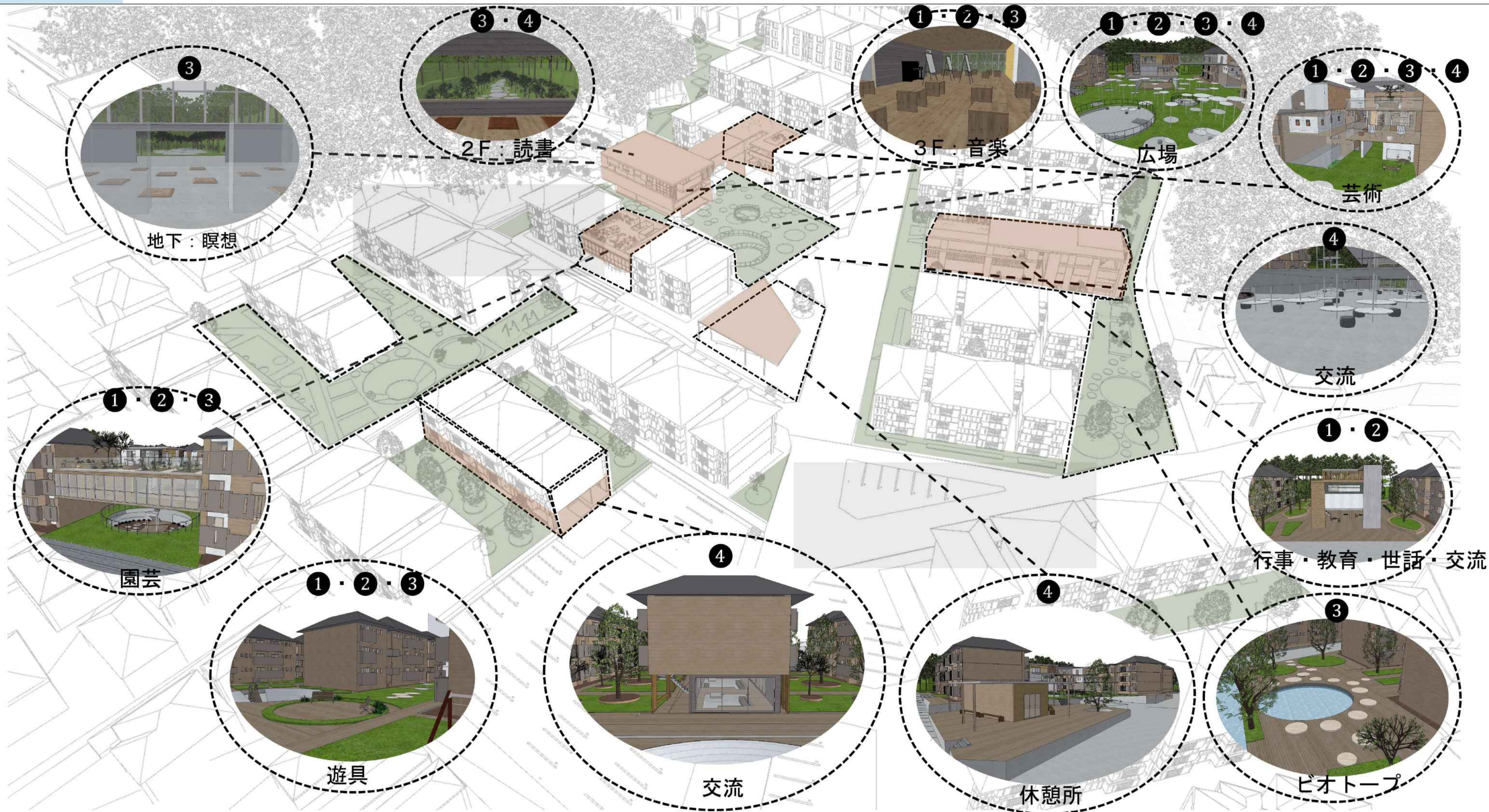


図2：連携体制図





【凡例】

- ①…代理経験
- ②…達成経験
- ③…生理的情緒的喚起
- ④…言語的説得

居住者同士の円滑な交流を促す為に、共用部の動線を混在は、地上と繋がるよう採光を意識した設計となっており、森させ、自然との調和・地形の高低差を意識した配置となっ林の奥行きを感じながら、内観できる瞑想空間を奥に設けてている。作業行為（芸術療法や運営のこと）から大学生のいる。どの共用部も、他者の行為方法を取り入れながら、自反応（問題解決や助言のこと）を効率的に実施する為に、分の力を発揮できるスペースとなっている。また、運動を楽しめる遊歩道を団地全体に計画した。落ちていて会話できる空間を点在させている。広場の地下

断面パース

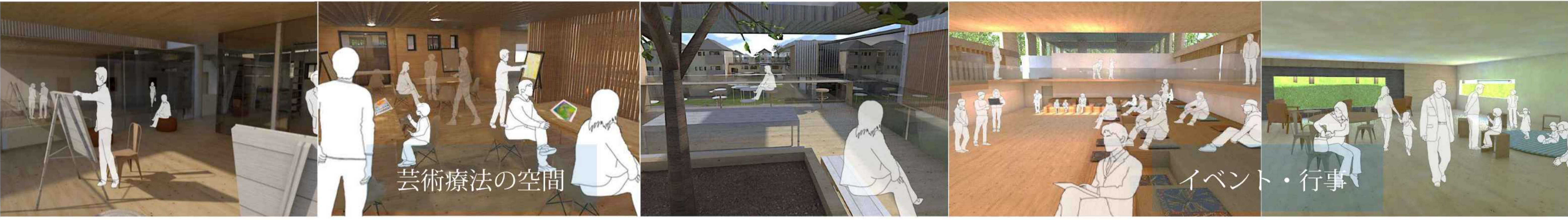


全体パース



↑身体活動や運動が、心肺機能や筋力の向上、メンタルヘルスや生活の質の改善に繋がる
↓植物・生物を育てることで責任感を養い、周囲の人々との共感やコミュニケーションを促進

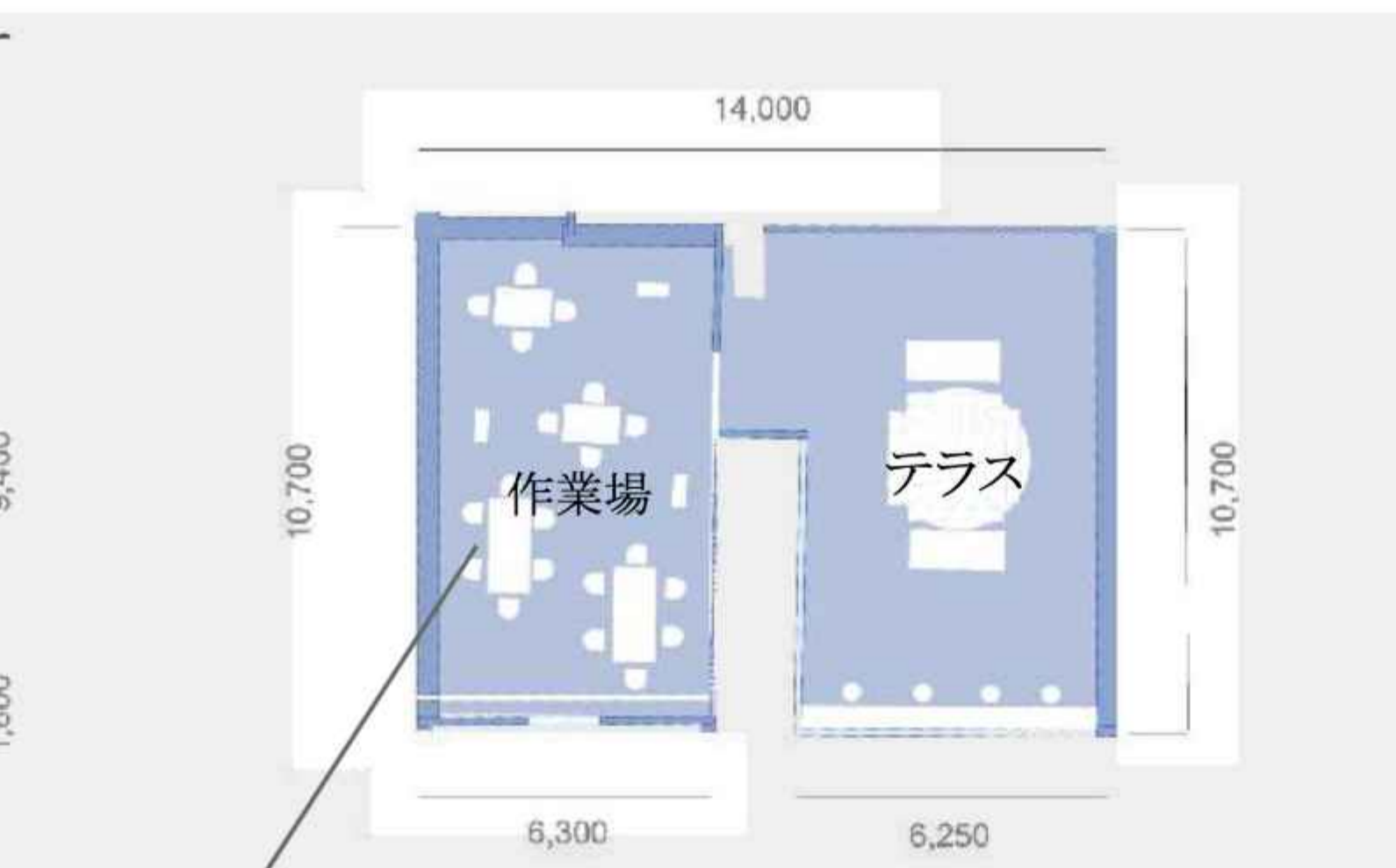
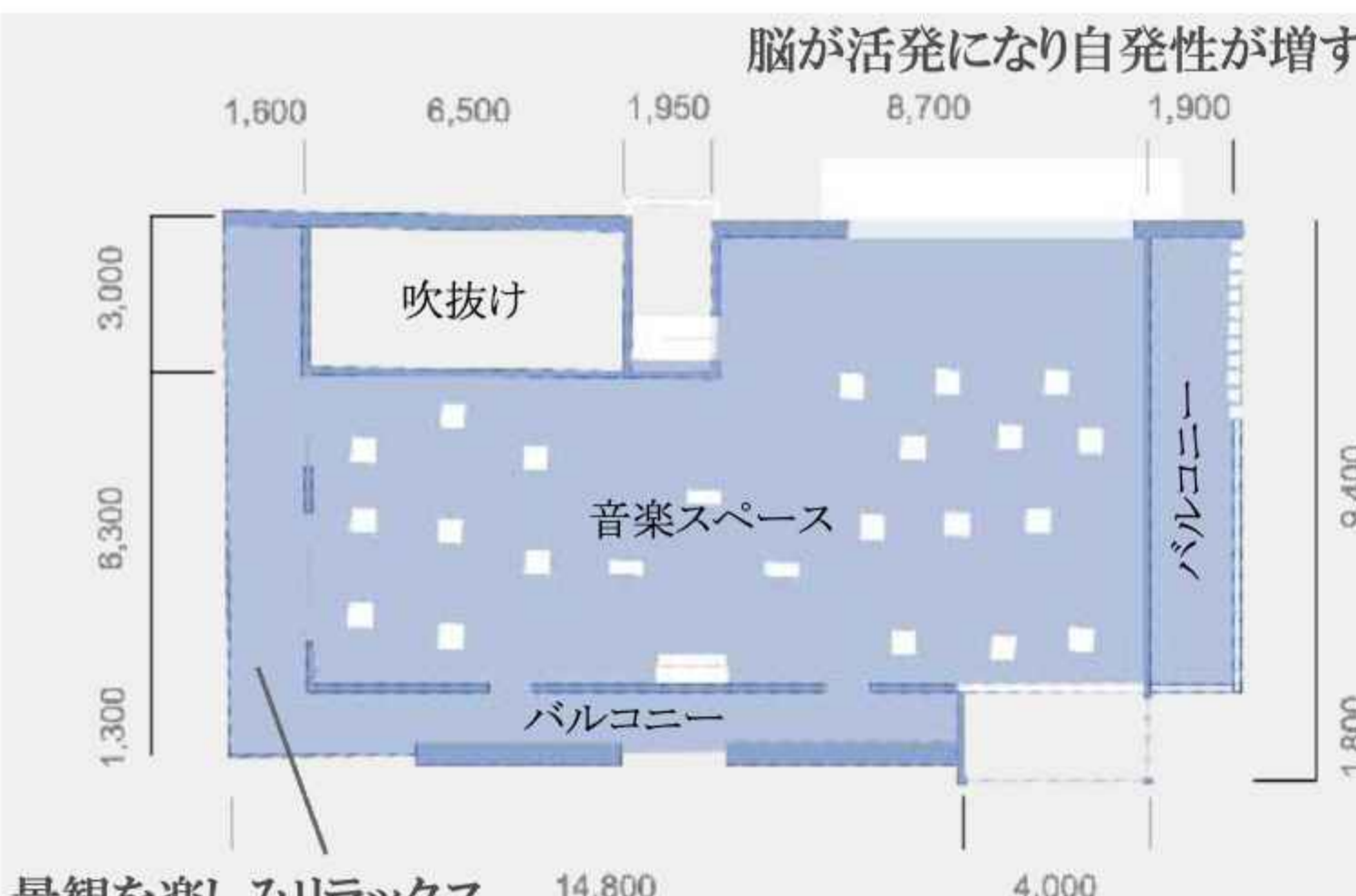




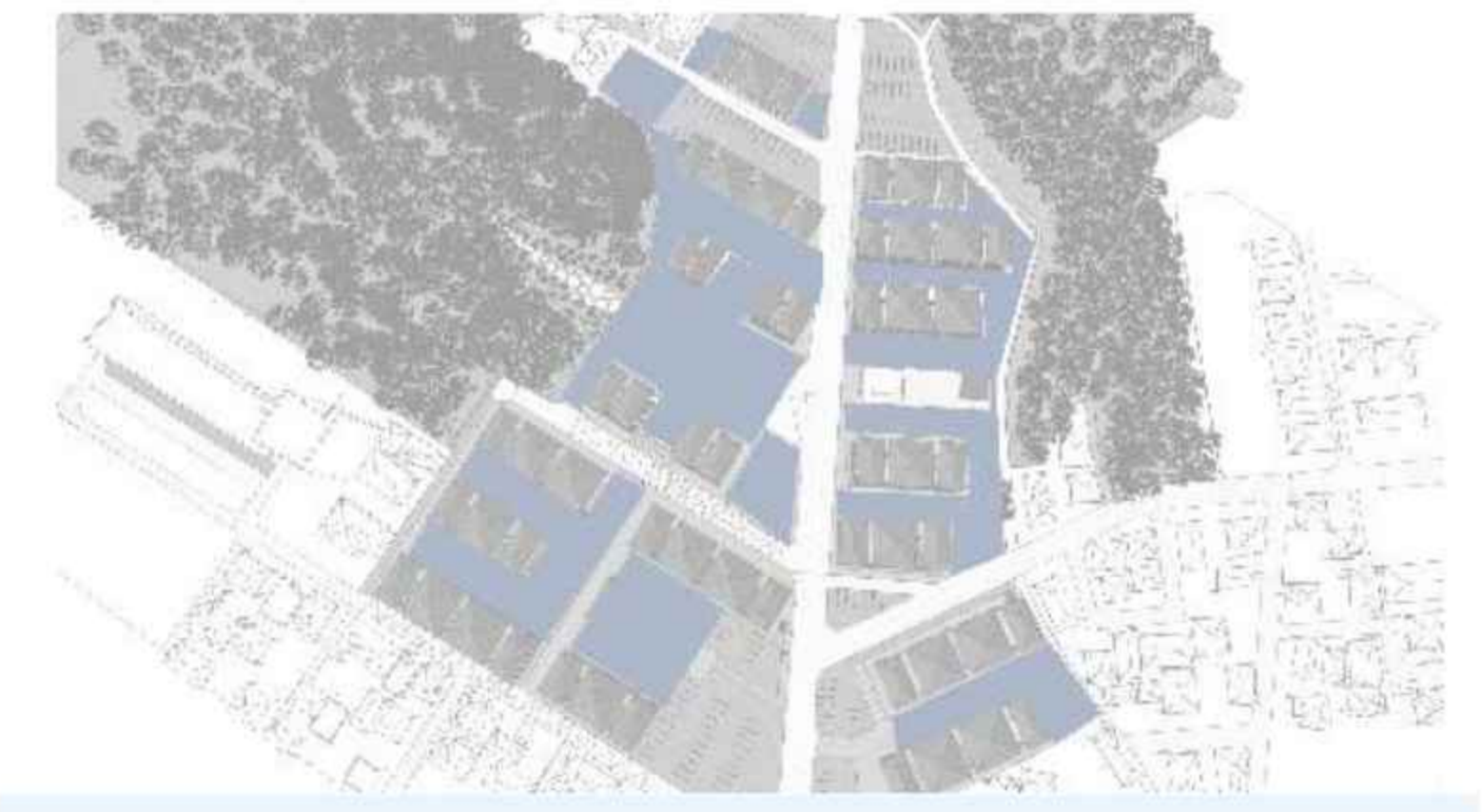
芸術療法の空間

イベント・行事

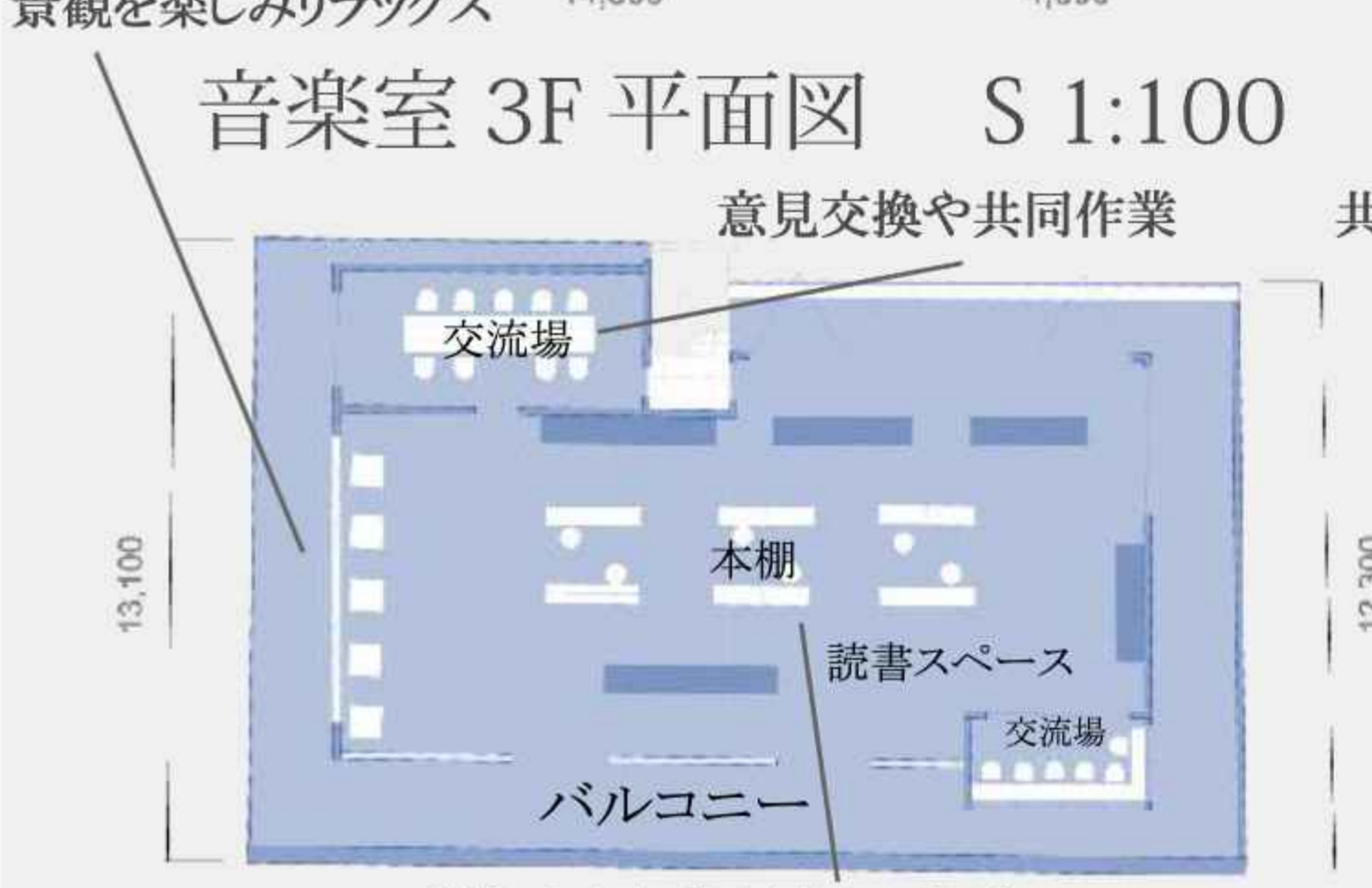
芸術療法の空間では、テラス席や作業場で各々の表現したい事に取り組み、作品を展示 他者の運営や進行する姿を見て（代理経験）挑戦することができるスペースを設けることで、人から見られる刺激や喜びを感じることができる。 意欲を掻き立てる空間となっている。



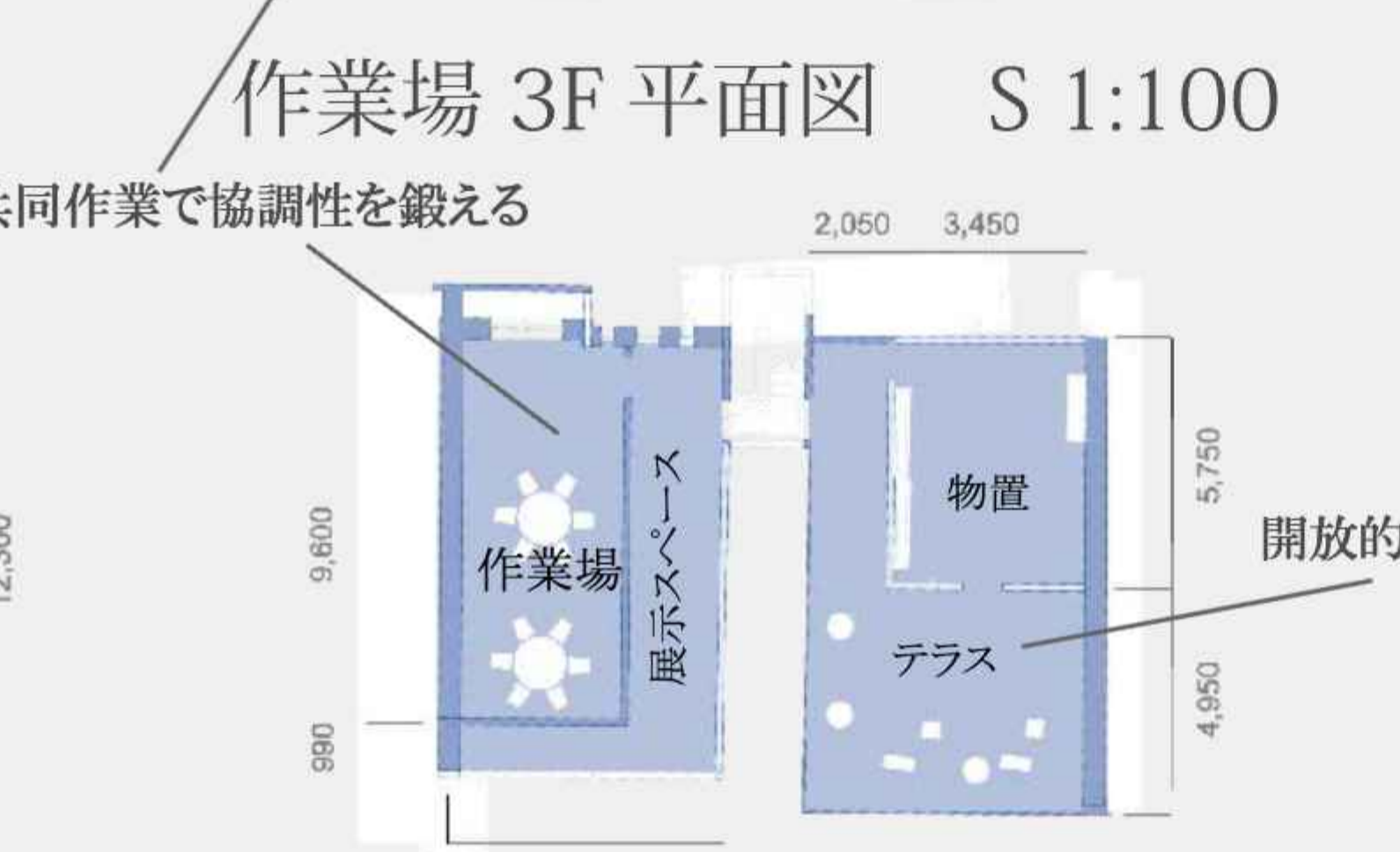
共用ゾーン



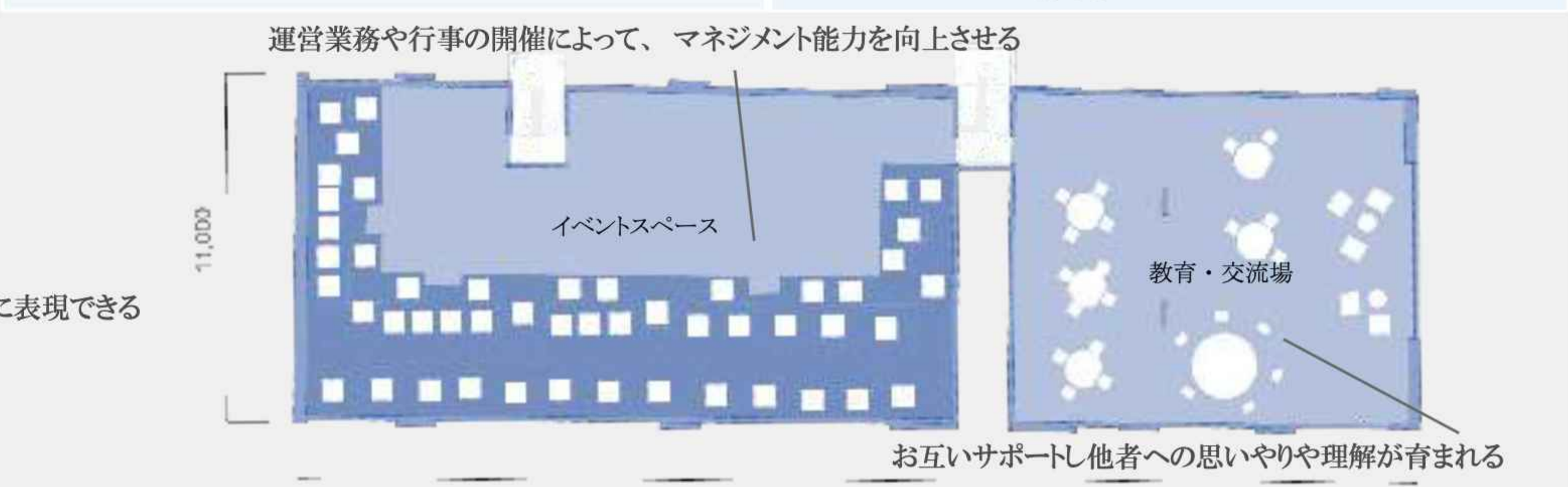
居住ゾーン



音楽室 3F 平面図 S 1:100



作業場 3F 平面図 S 1:100



行事空間 2F 平面図 S 1:100

